



子育て支援の更なる充実へ
10月から、こども医療費
無料化拡大

市長 頼高英雄

子ども達は、まちの未来そのものであり、私は市長就任以来、子育て支援を市政の最重要課題に位置付け、様々な取り組みを進めてきました。

こども医療費無料化については、県南地域でいち早く中学卒業まで拡大してきましたが、今年の10月から、入院は18歳までに拡大します。また、これまで蕨市・戸田市以外の医療機関では立て替え払いが必要でしたが、10月からは県

内全域で窓口払いが不要となり、利便性も向上します。

保育園や学童保育室についても、今年の4月にそれぞれ1か所増設し、2年連続で保育園の待機児童がゼロとなるとともに、この夏休みから、ご要望の多かった学童保育室の学校休業日の開始時間繰上げを始めました。その他、今後、保育園等での保護者連絡アプリ導入などICT化の推進や手洗い蛇口の自動水栓化など更なる感染対策を進めるとともに、秋からは産後ケア事業も開始します。

これからも人口減少社会にあって、選ばれるまちを目指して、「子育てしたい」と思える蕨のまちづくりを力を入れていきたいと思えます。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は1日です。10月は6日です。時間は午後1時～5時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。

